

★福島県感染症発生動向調査週報 県北地域情報 ! ★<6月14日発表>

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が流行しており、咽頭結膜熱は小流行が続いています。
- ・感染性胃腸炎が増加し、小流行となりました。
- ・水痘及び突発性発しんも増加傾向にあります。

☆インフルエンザについて☆

- ・県北地域のインフルエンザ患者報告数は減少してきましたが、インフルエンザB型は小流行が続いています。
- ・インフルエンザは、高熱、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。
- ・今月も油断せずに、咳エチケット(マスク)や手洗い、うがいなどの感染予防対策を続けましょう。

感染性胃腸炎について！！

各種の病原体(細菌やウイルス)に感染することで胃腸炎の症状を来す感染症です。今の時期は感染性胃腸炎が増加する傾向にあります。

症状

発熱、下痢(水様便、血便)、腹痛、悪心、嘔吐など。

感染してから症状が出現するまでの期間は、病原体によってさまざまです。

感染経路

主な感染経路は、人やペットから感染する接触感染や食物や水を介して感染する経口感染です。

治療方法

症状がでたら、速やかに医療機関を受診しましょう。特に、乳幼児や高齢者はこまめに水分補給を行い、脱水に注意しましょう。下痢止めの使用については、医師の指示に従って下さい。

予防方法

- (1)排便後や食事の前、調理前には、石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。(便に病原体が排出されることがあります。)
- (2)加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱しましょう。
- (3)調理前や調理後の食品を室温で長く放置しないようにしましょう。
- (4)まな板や包丁は、こまめに洗いながら使用するか、肉用・魚用・野菜用と分けて使用するとさらに安全です。

《☆7月24日～30日は肝臓週間☆》

7月28日は「世界肝炎デー」です！！

肝疾患でお悩みの方は以下の相談窓口にご相談ください。

福島県肝疾患相談センター(福島県立医科大学附属病院)

相談受付:毎週月・水曜日 14:00～17:00

相談方法:電話又は面談(面談は事前要予約)

TEL:024-547-1414

肝炎ウイルスの検査を受けましょう

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルスに感染して、肝臓の細胞が壊れていく病気です。国内最大級の感染症と言われ、日本人の約100人に1人が感染していると推計されています。

症状

初期には、発熱(主にA型)、黄疸、全身倦怠感、食欲不振、吐き気、みぞおち部の痛み、濃色尿などが見られることがあります。感染すると持続感染者(無症候性キャリア)になり、慢性肝炎、肝硬変、肝がんと進行します。C型肝炎は自覚症状がないことも多く、医療機関を受診されていない方が多いのが現状です。

感染経路

肝炎ウイルスには、主にA型、B型、C型、E型、などがあり、A型・E型肝炎ウイルスは主に水や食べ物を介して経口感染し、B型・C型肝炎ウイルスは主に血液・体液を介して感染します。

肝炎ウイルス検査について

B型、C型肝炎は早期発見・早期治療が重要です。

保健所や市町村、又は県で委託する医療機関で検査や相談を実施しています。検査の受け方や手続きなど、詳細等については県北保健福祉事務所までご相談ください。

TEL:024-534-4113

予防方法

〈A型・E型肝炎の予防〉

- ・手洗いを励行し、水や食べ物は十分加熱する。

〈B型・C型肝炎の予防〉

- ・他人の歯ブラシやカミソリなどは使用しない。
- ・他人のけが等の手当は、手袋を装着し、血液や分泌物に直接触れないように行うこと。
- ・性行為の時はコンドームを使用する。



(参考)厚生労働省ホームページ※肝炎に関するQ&A
→ http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou09/hepatitis_about.html